

令和7年度地方創生に関する交付金事業の概略とKPI

【新しい地方経済・生活環境創生交付金事業：第2世代交付金】

交付対象 事業の名称	事業の概要	K P I（重要業績評価指標）					
		指標	現状値		目標値		
			指標値	単位	R7年度	R8年度	R9年度
鉦路市内での映像制作を通じた地域振興事業	シビックプライドの醸成、観光者や移住・定住者の増及び市外に住む鉦路市出身の若者達が返ってきたいと思うような市となること等を狙い、鉦路市を舞台とした長編映像の作成及びそれに関連する事業を行う実行委員会に対し、補助を行う。	UIJターンの推進による就職者数	13	人	23	33	43
		延べ宿泊客数	126	万人泊	130	135	140
		長期滞在者数	2,026	人	2,150	2,325	2,550

【新しい地方経済・生活環境創生交付金関連事業】

交付対象 事業の名称	事業の概要	K P I（重要業績評価指標）					
		指標	現状値		目標値		
			指標値	単位	R7年度	R8年度	R9年度
【デジタル実装型】 書かないワンストップ 窓口導入事業	ライフイベント等に係る窓口手続きについては、煩雑な申請書作成や複数の窓口訪問等、市民の負担が大きい状況にある。窓口業務支援システム等の導入により「書かないワンストップ窓口」サービスを実装するとともに、セミセルフレジの導入により、証明書発行手数料等の非接触支払いを可能とするもの。これにより、申請書記載の手間、窓口滞在時間の長さ、手続き漏れのリスク等の課題を解決し、窓口サービスに対する市民満足度の向上を図る。	窓口業務支援システムによる手続き受付件数	-	件	2,100	8,800	9,200
		キャッシュレスの利用率	-	%	13	16	20
		窓口業務支援システムによる利用者満足度	-	ポイント	3	3.5	4
		証明書発行手続きの所要時間	-	分	8	6	5
		セミセルフレジによる利用者満足度	-	ポイント	3	3.5	4
【デジタル実装型】 鉦路市湿原展望台遊歩道における獣害対策事業	鉦路湿原国立公園エリア内の標記遊歩道付近でヒグマの目撃情報があった場合、遊歩道を一定期間閉鎖し、その後、巡回等により利用者の安全性を確認した上で解除するが、この対応にはいずれも職員の現地立入が必要であり危険性を伴う。本事業では、ドローンの活用によりヒグマ等の位置情報や行動を効率的に把握し、安全かつ迅速な獣害対策を確立することで、安全安心な住民生活と観光地としての危機管理を図る。	ドローンによる鳥獣監視日数	-	日間	100	100	100
		ヒグマ目撃による遊歩道閉鎖期間	-	日間	44	22	11
【地域防災緊急整備型】 避難所トイレ環境整備事業	当市は、令和4年に公表された日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の被害想定において、避難所生活者数が65,000人とされている。この度改訂された「避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン」では、避難所におけるトイレの基準として20人に1基と示されたことから、各避難所においてトイレ数を充足させる。また、平時から簡易トイレの使用方法等を、防災訓練や防災講座等で啓発を行っていく。	避難所におけるトイレの充足率	59	%	75	85	100
		簡易トイレ等の運用・利用方法の周知・啓発（累積回数）	-	%	30	60	90
		洪水時における開設可能な避難所数	106	箇所	134	152	179
		災害時のトイレ運用等に関する市民の認知度	-	%	60	70	80